

令和3年度

帰国生入学試験問題

# 国語

(50分)

注意

- 1 この問題用紙は、試験開始の合図で開くこと。
- 2 問題用紙および解答用紙に受験番号・氏名を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙に記入すること。
- 4 字数制限のある場合は、特別な指示がない限り、すべて句読点や「」「」などの記号を含んだ字数として解答すること。
- 5 印刷がわからない場合は申し出ること。
- 6 試験終了の合図でやめること。

東京都立大学等々力中学校

受験番号		氏名	
------	--	----	--

□ 次の——線の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して答えなさい。

- 1、セーターを裏表うらおもてに着る。
- 2、ささやかな抵抗を試みる。
- 3、我先にデパートの入口へと走る。
- 4、先生を交えて皆で話し合う。
- 5、適切な温度を保つ。
- 6、かぜでシヨクヨクがわからない。
- 7、会場には一万人のカンシユウが入る。
- 8、全員が混乱することはヒッシだ。
- 9、彼はこの春に別のブシヨから来た。
- 10、書類の提出期限は三月マツジツだ。

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

生田羽村立生田羽中学校（本校）で行われるはずだった「夜空を見る会」が、急に降ってきた雨で中止になり、参加者は解散になった。分校から来ていた中学一年生の松本憲太は、同級生の江崎学がいないことが気になり、本校内を探し回る。すると、図書室で進学塾のテキストを広げて勉強している学を見つけ、いつも勉強ばかりで余裕のない学の態度を非難し、言い合いになった。

はつきりと目にできた雷は、地に向かって落ちて落ちるのではなく、空を切り裂くものだった。枝分かれしながら伸びる閃光が、空の端から端まで届く。真つ黒な夜空に強烈なきらめきの亀裂が走る。

「うわ、すげえ」

今のおまえ、見た？ と、声を荒げたことも忘れて問おうとした矢先、

「学？」

憲太はびっくりした。

学が泣きそうになっていたからだ。

学がべそをかく顔なんて、いつぶりに見ただろうか？ 見たとしたらたぶん、小学校に上がる前だ。学と聞いて憲太が頭に浮かべる彼の表情は、最近では暗記カードや教科書などを睨みつけるようにしているものと、真面目で整っていて、いかにも頭脳明晰めいせきそうにまっすぐ前を見つめる横顔、それから、こちらを振り向いて心底嬉しげに笑う顔——それらだ。

いやそれよりも、<sup>①</sup>なぜ、涙ぐんでいるんだろう。

「おい……おまえ」

「……憲太は、両親もおじいさんもおばあさんも、ずっとこの村じゃないか。でも僕は違う。親が勝手に……田舎に変な夢抱いて、こんな村に来て」

村おこしの一環として、十数年前に農地を無償で貸し出すと都会から若夫婦を誘致したのは、憲太の祖父の策だった。

「うちの親がそのまま都会にいてくれたら、僕の今はきっと違ってた。こんな村じゃ、十分な勉強なんてできない。札幌や大きな街の子は、なんの苦労もなく進学塾や予備校に通っている。ネットの授業配信も、もう少し先だっていうし」

泣きべその理由を推しはかりながら、憲太は学をとりあえず励ましてみた。

「でもおまえ、今でも十分すごいじゃん」

「どこがだよ！」

大声を出した学の頬を伝い、細い顎あごの先からしずくが落ちる。「成績は下がったんだよ、僕は僕なりにやったつもりだったのに……僕より上のやつらは、みんな都会の子だった。彼らと同じことをやれたら、絶対負けなかったのに」

学は顎を手の甲で拭いながら、進学塾のテキストを拾い上げた。

「環境が違うんだ、勉強する環境が……こんな田舎にいるって、それだけですすごいハンデだ。このままなら、きっとこれからもどんどん成績は下がる。成績が下がれば、望む高校に行けないかもしれない、大学にだって」

そして、苦しげに絞り出すような声で、こう断じた。

「生田羽村が、僕の未来を閉ざすんだ」

ああそうか——憲太は腑ふに落ちた——こいつは悔しいんだ。悔しくて泣いているんだ。自分ではどうにもならないことが自分を邪魔していると

信じ込んで。

眼鏡を外して肘をつき、両手で顔を覆って、学はとうとう嗚咽しだした。憲太は暗さにまぎれてしまいそうな彼のつむじを、A 睨んだ。

「……だっせ。めそめそしやがって」

口から出た声は、憲太自身も驚くほどに低かった。

「おまえの未来って、なんだよ」

その低さで、内にくすぶる怒りを憲太は自覚した。学も ② 異変を悟ったのか顔を上げた。

「どんな未来がお望みなんだよ、言ってみろよ、おい」

そういえば、学の将来の夢を憲太は知らないのだった。憲太も教えていなかった。というか、真面目に考えたことがなかった。学校でそういった課題の作文を書かされたこともなかった。

学の未来については、村の大人たちが口々に好き勝手なことを語るのを耳にするだけだった。

「……医師」

学も低い声で一言答えた。

「は？ イシ？」

「医師。お医者さんだよ、久松先生みたいな」

子どものころから世話になっている、穏やかで優しそうなおじいさん先生の像が、憲太の頭の中で結ばれた。

また雷が連続して落ちた。学の喉が、ひゅつと鳴った。

B、医者なら難しいだろう。難しくなければ困る。人の命を預かる仕事なのだから。でも。

「俺、今のおまえみたいなお医者さんなら、診てほしくない。ほんとマジ、③ 絶対やだね」

雷が落ちたみたいに、学の体がびくつととなった。憲太はたたみかけた。「だって今のおまえなら、手術失敗しても、器具が悪かったとか、とにかく上手くいかなかったら周りのせいにしそうじゃん」

「なんだって？」

学が眉をつり上げて席を立ち、上目遣いでねめつけてきたが、憲太は動じなかった。

「おまえ、さっき言ったこと忘れたのかよ？ 自分の成績が落ちたのを生田羽村のせいにしてただろ。こんな田舎だから駄目なんだってさ」

右手が勝手に動いて、向かい合う学の肩を掴んでいた。

「バックじゃねえの？ 久松先生だってこの村の出身だぞ。そりゃたしかにここは田舎だよ。でも、それだけの理由でおまえが駄目になるなら、

それはおまえがその程度だったただけだよ。全世界のお医者さんは一人残らず都会出身なのか？ 違うだろ？ 本当にすごいやつは、どこにいたってちゃんとやれる」

「でも」

学が反論しかけた矢先、落雷があった。手の中にある彼の肩が強張るのがわかった。憲太はまた窓の外を見てしまった。空が明るくなるごとに、一面を覆う雷雲の形が、黒と群青と紫を混ぜたような色で浮かび上がる。

「でも……僕のことをすごいと言ったのは、僕じゃない。大人たちや、憲太だよ」

憲太の手首が、そつと学の右手で押しつけられた。冷たい手だった。

「大人にはなんと噂されてもよかったけど、憲太が言ってくれたのは嬉しかった。だから」

ずつと、誰よりすぐくあり続けなくてはいけないと思った——学は打ちひしがれたみたいになされた。

「あ……僕、憲太のせいにしたね」

④学はもう泣き声をたてなかった。ただ、両手で顔を拭い続けた。雷が夜を走るたびに、唇を噛みしめ、目の下や頬に指や手の甲を押し当てる

青白い顔が見えた。憲太はだんだんと不思議な気分になった。学はクラスの中でははっきりと大人っぽい部類に入る。本校の生徒を含めてもそうだし、実際に目にしたわけではないけれど、札幌の進学塾のクラスでだって、①を抜いて冷静で落ちつき払った雰囲気だっただろう。けれど

も今、自分の前にいる学は、②子どもだった。雷に怯えて目を閉じ、耳をふさいでいた、遠い日のように。

そうか、嬉しかったのか。俺の言葉が。

もう何度目かわからない稲光と轟音が襲う。雷が光るたびに、幼かったころの学が今の学と重なり、さっきまでの腹立ちはどこへやら、⑥は自分でもわけがわからぬまま、笑っていた。

(乾ルカ「願いながら、祈りながら」より)

問 一、A、Cにあてはまる言葉として最も適当なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア、なるほど

イ、まるで

ウ、なぜなら

エ、しばらく

問 二、——線①「なぜ、涙ぐんでいるんだろう」とありますが、学が「涙ぐんでいる」のはなぜですか。「学は、生田羽村に」に続けて、文章中の言葉を使って二十字以内で答えなさい。

問 三、——線②「異変」とありますが、これはどのようなことですか。それを説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を文章中から指定された字数で探し、それぞれ抜き出して答えなさい。

憲太の 1、二字 のこめられた声が、 2、九字 ということ。

問 四、——線③「絶対やだね」とありますが、憲太は学がどのような医者になるのが「やだ」と思っていますか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、自分の失敗を自分の責任だと思わないような医者。
- イ、自分の患者の心の痛みを全く無視するような医者。
- ウ、自分の能力や技術の高さをひけらかすような医者。
- エ、自分の努力不足により過失を繰り返すような医者。

問 五、——線④「学はもう泣き声をたてなかった」とありますが、このときの「学」の心情の説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、憲太の言うことは確かに正論であるが、乱暴な言葉で非難され続けたことに、非常に腹を立てている。
- イ、憲太のおせっかいに嫌気がさして、憲太が言う言葉は聞いていなかったため、調子だけ合わせている。
- ウ、憲太の論点の矛盾を指摘してみたが、憲太に全く通じなかったので、あきらめて話題をそらしている。
- エ、憲太の言うことに反論してはみたが、やはり憲太の指摘どおりだと思いがら、自己を反省している。

問 六、——線⑤「雷が夜を走る」とありますが、この様子を視覚的に描写している連続した三文を文章中から探し、最初と最後の五字を抜き出して答えなさい。

問 七、

1
---

にあてはまる言葉として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、頭      イ、手      ウ、段      エ、群

問 八、——線⑥「憲太は自分でもわけがわからぬまま、笑っていた」とありますが、このときの「憲太」の心情の説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、以前、学はずば抜けて優秀であると自分がほめていたにもかかわらず、すっかり忘れていた事実にがく然として、心の中では申し訳なく感じている。

イ、優秀で大人っぽいと思っていた学が、自分の言葉に影響を受けるほど、昔と変わらない素直で子どもらしい面を持っていると知り、親しみを感じている。

ウ、優秀で誰よりも自尊心の高い学をこれまで支えてきたのは、実は自分だけであったことが明確にわかり、心の底では勝ち誇った気持ちになっっている。

エ、成績優秀な学の深刻な悩みの原因は、全て親友の自分にあるという独断的な作り話をされたことに傷つきながらも、その強い信念にあきれ果てている。

問 九、この文章の特徴として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、比喩表現や擬音語、擬態語を多くの場面で用いることで、場の背景や様子、人物の行動や心情を想像しやすい文章になっている。

イ、細かい状況説明と会話文を組み合わせ、人物の関係性の変化、場面の展開などを幻想的に映像化して伝達する文章になっている。

ウ、生き生きとした会話文が人物の関係性、心情の変化を浮き彫りにし、迫力のある情景描写が場の印象を際立たせる文章になっている。

エ、説明的な文章と読み手の五感を刺激する文章をうまく融合させて、神秘的な印象を強めながら主題を明確化させる文章になっている。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

チンパンジーは、石でヤシの実をわることができます。猿人も同じような使いかたをしていたと推測できます。しかし、石を石で加工して石器をつくるという技術は、ホモ属のヒトの特徴と考えられています。道具として使えそうな石をさがして使うのではなく、「道具をつくる」ことを始めたのです。こうして、ヒトは時とともに、技術も進歩させてきました。

京都大学霊長類研究所の研究では、チンパンジーは文字や数字のようなシンボルの違いを認識し、ある程度使いこなすことができるということです。A、鏡を見ながら額につけられたマークをさわることにみられるような、自己認識ができるともいわれています。これらのことは、

ニホンザルのようないわゆるサル（モンキー）のなかまではできません。①チンパンジーはほかの動物とは大きく違う、ヒトに近い知能をもっています。

ヒトとゲノム上では約一・二%しか変わらないチンパンジー。ヒトとチンパンジーなどの類人猿との違いは、ヒトが直立二足歩行をするということです。こうした行動や文化の違いは、ゲノム上のどこにあるのでしょうか？

ゲノム上の違いが丹念に調べられていますが、残念ながら、現時点ではまだよくわかっていません。特定の少数の遺伝子の決定的な違いというより、多くのタンパク質におけるアミノ酸のわずかな違いによる働きの違いや、いくつかのタンパク質のつくられる時期や量の違いが積み重なって、②その差が出てくるのではとの考えもあります。

多くの遺伝子では、タンパク質のアミノ酸配列の情報をもっている部分（構造遺伝子）に加えて、そのタンパク質をいつ、どのくらいの量つくるかを調節している部分（調節領域）をもっています。

ひとりの人は、すべての細胞が同じセットの遺伝子をもっているのに、肝臓、心臓、脳などの臓器の違いにより、また、幼児、子ども、大人など年齢の違いにより、さらに、昼と夜、空腹と満腹など体の内外の環境変化などにより、細胞内に存在するタンパク質の種類や量が違うのは、この調節領域の働きによります。

チンパンジーとヒトも個々のタンパク質の働きが大きく違うのではなく、これらの遺伝子の調節のしかたが異なるのではないかということです。Bそれは、神経機能や神経発生に関係した遺伝子、生殖に関係した遺伝子などがつくるタンパク質の量や時期の違いです。しかしそれだけで、チンパンジーとヒトとの知的な違いを説明することは、まだまだ困難です。

私たちは、「地球は丸い」とか、「地球は太陽のまわりを回っている」ことを当たり前のことと思っっています。C、ほとんどの人が、実際に地球が丸いことや太陽のまわりを回っていることを、実験したことはないでしょう。私たちが地上で見ることができるといえる範囲では、大地は多少の凹凸はあるにしても平らにみえ、少なくとも丸くは感じられません。また、地球はじっとしていて太陽が東から西へと動いていると感じていま



す。

③ 昔の人たちも同じように感じていたはずですが、そして、地球が丸くて太陽のまわりを回っているなどと、とても考えられなかったことでしょう。現代の私たちと、たとえば一万年前の縄文人たちとは、何が異なるのでしょうか？

④ 現代人の脳は、一万年前の縄文人の脳から大きく変わっているわけではありません。ヒトは少なくともおよそ五万年にわたって、その基本的な脳の働きはまったく変わっていないといわれています。

縄文人が文字さえもない狩猟と採集のまっさらな生活をしてきたのに対し、現代の私たちは電子機器にかこまれて快適で文化的な生活をして、知識もはるかに豊富にもっています。私たちが昔の人たちよりも優れているわけではありません。縄文人も子どもころから教育すれば、コンピュータを使いこなす、医者にもパイロットにもなれるでしょう。

⑤ チンパンジーは親のしぐさをみて学び、自分のものとして身につけますが、親が積極的に子どもに何かを教えるということとはほとんどしないとされています。言葉や経験を、次世代と共有できる文字のような手段の獲得、その違いが、いまのヒトとチンパンジーの違いではないでしょうか。チンパンジーでは、それぞれの世代は、前の世代が始めたことをはじめからやりなおすので、いつまでもほぼ同じ状態で止まってしまっています。

生きものたちのすべての進化情報は、遺伝子(DNA)の情報として保存され、伝えられてきましたが、ヒトは遺伝子では伝えられないものを伝えることができる能力をもった生きものなのです。個人や集団が得た知識や技術を言葉、文字、絵画、音楽などを通じて次の世代に伝え、それを蓄積し、種全体で共有することができる能力を獲得したのです。

前の世代の知的財産に、いまの世代が獲得したものを加えて、それを次の世代に伝えていき、世代が進むとともに文化財産が蓄積されていく——これは、ヒト以外のあらゆる生きものたちがかつてもつたことのない、高度な脳の発達によるすばらしい能力です。ヒトはこれまでにはなかった特殊な生きものなのです。

D、これまで私は、人類のことを「ヒト」と書いたり、「人」と書いたりしてきました。生物学では一般に、生きものの種を表すときにカタカナで表記します。遺伝子を伝えるものとしての生きものの種類のひとつという意味です。それに対して、遺伝子に加えて文化を伝えることができる生きものとしてのヒトを「人」あるいは「ひと」と表します。

⑥ 私たち一人ひとりも、ヒトとして生まれ、人(ひと)として育ちます。

(伊藤明夫「40億年、いのちの旅」より)

(注1)「猿人」……チンパンジーとの共通の祖先から分かれた最初期の人類。

(注2)「ホモ属」……哺乳類<sup>ほにゅうるい</sup>霊長目ヒト科の属の一つ。

(注3)「ゲノム」……ある生物種を規定する遺伝情報全体のこと。

問 一、  
A D にあてはまる言葉の組み合わせとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- |          |        |       |        |
|----------|--------|-------|--------|
| ア、Aーつまり  | Bーすると  | Cーしかも | Dーそのうえ |
| イ、Aーだから  | Bーなぜなら | Cーまたは | Dーところが |
| ウ、Aーまた   | Bーたとえば | Cーしかし | Dーさて   |
| エ、Aーあるいは | Bーけれども | Cーただし | Dーそこで  |

問 二、——線①「チンパンジーはほかの動物とは大きく違う」とありますが、「チンパンジー」が「ほかの動物」と違ってできることは何ですか。あてはまるものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア、まっすぐ立って二本足で歩くこと。
- イ、文字や数字の違いがわかること。
- ウ、石を用いて新たな道具を作ること。
- エ、筆記用具がある程度使いこなすこと。
- オ、鏡に映った自分の姿を認識すること。

問 三、——線ア～エの言葉の中で、他と熟語の構成が異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

問 四、——線②「その差」とありますが、それはどのようなことですか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア、ヒトとチンパンジーとのゲノム上の違い。

イ、タンパク質がつけられる時期や量の違い。

ウ、幼児、大人や子どもなどの年齢の違い。

エ、ヒトや類人猿における行動や文化の違い。

問 五、——線③「昔の人たちも同じように感じていたはずです」とありますが、「同じように感じていた」とは具体的にどのようなことですか。

それを説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を文章中の言葉を使って八字以上十字以内で答えなさい。

地球は 八字以上十字以内 ように感じていたということ。

問 六、——線④「現代人の脳は、一万年前の縄文人の脳から大きく変わっているわけではありません」とありますが、このことから筆者は「縄文人」についてどのように推察していますか。その内容を具体的に表している一文を文章中から探し、最初の五字を抜き出して答えなさい。

問 七、——線⑤「チンパンジー」とありますが、「チンパンジー」が「ヒト」と違うのは、どのようなことですか。それを説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を文章中から三十字で探し、最初と最後の五字を抜き出して答えなさい。

三十字 ということ。

問 八、——線⑥「ヒトとして生まれ、人（ひと）として育ちます」とありますが、この表現には、どのような内容がこめられていますか。それを説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を文章中から指定された字数で探し、それぞれ抜き出して答えなさい。

人類は、1、三字 だけでなく、知識や技術も次世代に伝えることで、2、四字 を蓄積していく存在であるということ。

問 九、この文章で述べられていることとして最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、ヒトとチンパンジーの行動や文化の違いは、ゲノムにおいて特定の遺伝子が決定的に違うことによるものである。
- イ、チンパンジーは、それぞれの世代が自発的に獲得したものを次の世代に伝え続け、少しずつ技術を蓄積している。
- ウ、同じ人であっても、臓器や年齢の違い、体の内外の環境変化によって、細胞内のタンパク質の種類や量は異なる。
- エ、道具として使えそうな石をさがして、それを使いこなすのは、動物の中ではサルの仲間だけに特有の行動である。

問題は次ページに続きます。

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

古代の巨大構造物というと、奴隷の強制労働でつくられた印象がある。<sup>①</sup>作業のつらさに耐えかねて倒れると、後ろからムチが飛んでくるような場面を何かの映像で見た気がする。エジプトのピラミッドが典型だろうか。

② そんな思い込みを覆す発見のかもしれない。古代マヤ文明の遺跡としては最大の建造物が、メキシコ南部で確認されたと先日紙面にあった。社会階層が未発達だった紀元前1千～800年に築かれたとみられる。

③ 建設を強制するような権力がなくても、大規模な共同作業が可能だったというのが注目すべき点だという。南北1・4キロにわたる建造物は祭祀用とみられ、「人々は自発的な意思で集まって、建てたのかもしれない」と研究チームの猪俣健・米アリゾナ大教授が語っていた。

少なくとも苦痛にゆがむ労働者の顔は想像しなくていいのだろう。冒頭に触れたピラミッドにしても、奴隷労働ではなかったという見方がいまは有力だという。

建設に携わった人のためのパン工房や穀物倉庫の跡が発見されており、牛肉などの肉類も普段から食べていたらしい。労働者としては圧倒的に優遇されていたと大城道則著『ピラミッドへの道』にある。一種の公共事業だったのでは、とも言われる。

④ 現代人の身勝手さなのか、遠い過去は暗いものだと考えてみたり、逆に極端に美化してみたり。もしやあの遺跡は、お祭りの会場作りや道路工事の巨大なものだったかと思えば、いにしえの人たちが少し身近になってくる。

(朝日新聞「天声人語」より)

問 一、——線①「作業のつらさに耐えかねて倒れると、後ろからムチが飛んでくるような場面」とありますが、これはどのようなことを表していますか。最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア、奴隷たちが、貧困に苦しみ、不当に安価な労働につかざるを得なかったということ。
- イ、奴隷たちが、歴史的に意義の大きい仕事に誇りをもって労働に励んでいたということ。
- ウ、奴隷たちが、いつ戦争が始まるかわからない不安定な状況で必死に働いていたということ。
- エ、奴隷たちが、むごい条件の下、人格を無視した厳しい労働を強要されていたということ。

問 二、——線②「そんな思い込みを覆す発見なのかもしれない」とありますが、それはなぜですか。その理由を説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を文章中から指定された字数で探し、それぞれ抜き出して答えなさい。

発見された古代マヤ文明の遺跡が築かれた時代は、1、八字で奴隷という階級がなく、2、六字によって集まった者たちが、その建造物を建てたという話もあるから。

問 三、——線③「大規模な共同作業」とありますが、筆者はこれをどのようなものだったと想像していますか。文章中から十九字で探し、抜き出して答えなさい。

問 四、——線④「現代人の身勝手さなのか」とありますが、この言葉にはどのような気持ちがかめられていますか。その説明として最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア、筆者も含めてではあるが、<sup>わ</sup>枠にとられず自由で型破りな発想をしがちな現代人をほほえましく思う気持ちがかめられている。
- イ、筆者も含めてではあるが、思い込みや自分の都合に合わせた想像をしがちな現代人をいましめる気持ちがかめられている。
- ウ、筆者も含めてではあるが、無神経な言葉や自分勝手な<sup>もうそ</sup>妄想で他人を傷つけがちな現代人を非難する気持ちがかめられている。
- エ、筆者も含めてではあるが、世間の動向ばかり気にして自分の意見を抑え込みがちな現代人を嘆く気持ちがかめられている。

四	三	二	一
		2	1

四

五	四	三	二	一
九	八	七	六	
	2	1		

三

三	二	一
2	1	
		C B A
九	八	七 六 五 四

二

5	4	3	2	1
10	9	8	7	6

一

評 点

チェック

〈受験生はこれより上段には記入しないこと〉

令和3年度

帰国生入学試験問題〔国語〕解答用紙

6	シ ヨ ク ヨ ク	1	裏 表
7	カ ン シ ユ ウ	2	試 (みる)
8	ヒ ツ シ	3	我 先 (に に)
9	ブ シ ヨ	4	交 (えて て)
10	マ ツ ジ ツ	5	保 (つ つ)

二

問一

A

B

C

学は、生田羽村に

問二

問三

1

2

10

問四

問五

問六

最初

最後

問七

問八

問九

三

問一

問二

問三

問四

問五

問六

〈8〉

問七

最初

〕

最後

問八

1

2

問九

四

問一

問二

1

2

10

問三

10

問四

〈19〉

受験番号

氏 名

20